

Bell Forum

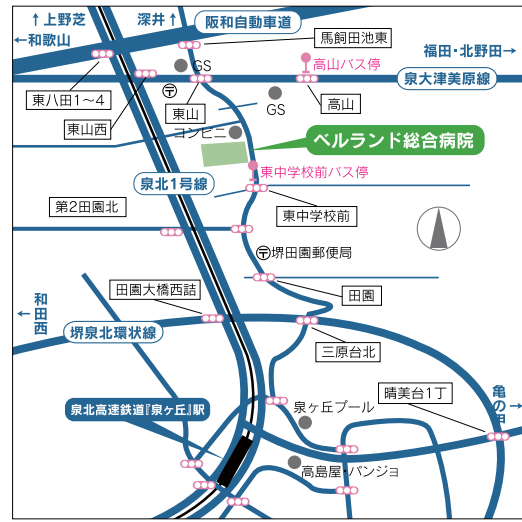
地域と職員とともに栄えるチーム

連載 登録医のご紹介

医療最前線

DPC特定病院群に指定

2018
Summer
No.60

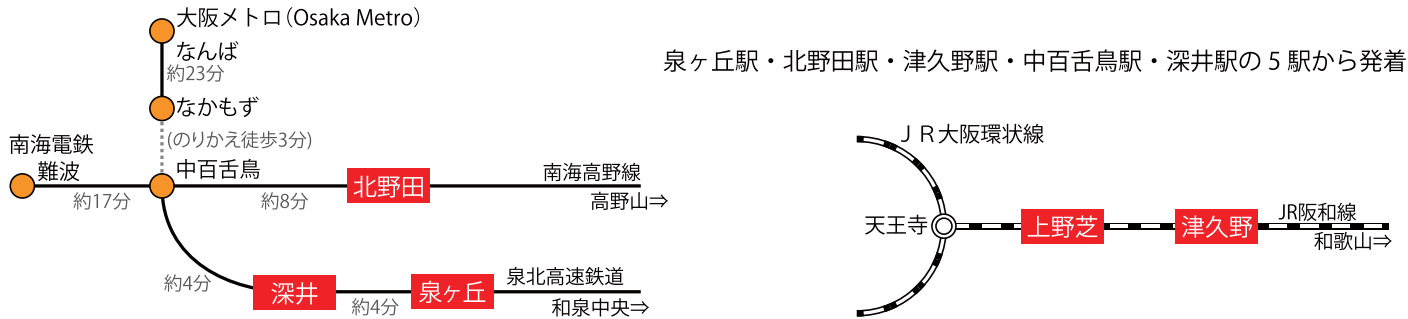


ベルランド総合病院への交通

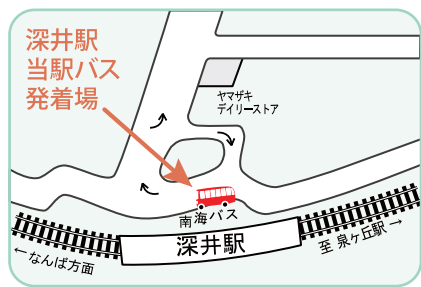
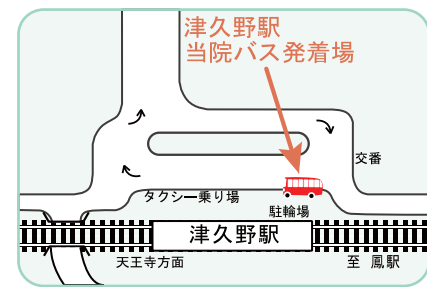
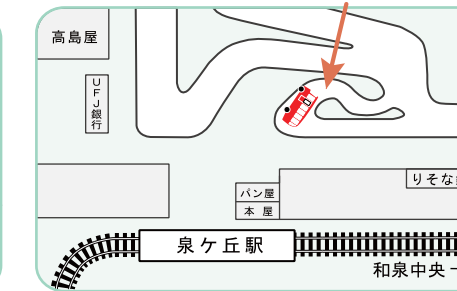
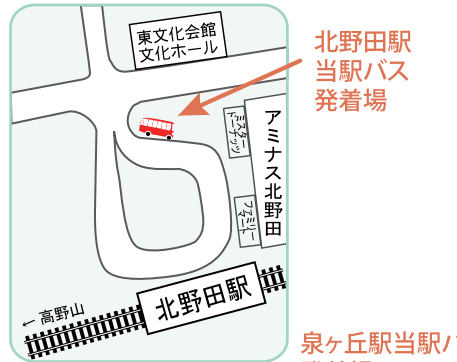
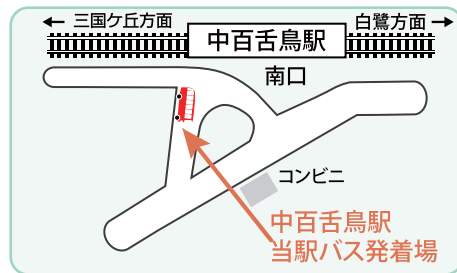
電車とバスをご利用の場合

- 泉北高速鉄道「深井駅」より
南海バス〈泉ヶ丘行き・あみだ池行き〉
東中学校前バス停下車徒歩1分
または〈北野田駅前行き〉高山バス停下車徒歩5分
- 南海高野線「北野田駅」より
南海バス〈西区役所前行き・東山車庫前行き・深井駅行き〉
高山バス停下車徒歩5分

送迎バスのご案内



泉ヶ丘駅発	ベルランド総合病院発泉ヶ丘駅行き
7:30-13:45 まで 毎時 00・15・30・45 分発	7:20-13:50 まで 毎時 05・20・35・50 分発
14:00-19:30 まで毎時 00・30 分	14:20-19:20 まで毎時 20・50 分
北野田駅発	ベルランド総合病院発北野田駅行き
8:45-17:15 まで毎時 15・45 分発	8:30-17:00 まで毎時 00・30 分発
中百舌鳥駅発	ベルランド総合病院発中百舌鳥駅行き
8:20-17:20 まで毎時 20・50 分発	8:00-17:00 まで毎時 00・30 分発
津久野駅発	ベルランド総合病院発津久野駅行き
8:20-15:20 まで毎時 20 分発	8:00-15:00 まで毎時 00 分発
深井駅発	ベルランド総合病院発深井駅行き
8:35-15:35 まで毎時 35 分発	8:00-15:00 まで毎時 00 分発



TOPICS

- 新副院長・新部長・新入職医師 紹介
- メディア掲載報告(病院機能評価認定継続4回以上の病院)
- 平成29年 クリニカル・インディケーター 実績報告
- 第8回市民公開講座 開催
- 第8回産婦人科レビュー・コース 開催
- ベルランド看護セミナー開催
- 看護部長・管理部長紹介

ベルランド総合病院

DPC特定病院群に指定

※旧Ⅱ群

ベルランド総合病院は平成28年度から厚生労働省より、「DPCⅡ群病院(大学病院本院に準ずる機能を有する病院)」の指定を受けておりました。このたびの平成30年度診療報酬改定により医療機関群の名称が、大学病院本院は「大学病院本院群(旧Ⅰ群)」、大学病院本院なみの高度な医療を提供している「DPC特定病院群(旧Ⅱ群)」およびその他の急性期病院「DPC標準病院群(旧Ⅲ群)」に変更されましたが、当院は前回に引き続き「DPC特定病院群」の指定を受けました。

DPCとは、病名や診療内容について、4,955に分類(診断群分類)し、分類ごとに1日あたりの入院費用を定めた医療費の計算方式のことです。

DPCでは、従来の診療行為ごとに計算する「出来高払い方式」とは異なり、入院患者さんの病気とその症状をもとに国で定めた1日あたりの定額の点数からなる包括評価の範囲(投薬料、注射料、検査料等)と出来高評価の範囲(手術料、麻酔料等)を組み合わせて医療費の計算をおこないます。

入院費用の決定は、疾患毎の1日あたりの点数×医療機関別係数×入院日数で計算されます。そのほか、手術やリハビリなど一部の行為は別途加算されますが、疾患ごとに入院費の概算が分かるようになりました。当院では平成18年から入院費の支払い方式がDPC方式に変わっております。

医療機関別係数とは、医療機関の基本的な診療機能を評価する「基礎係数」、医療機関の人員配置や有する機能等の構造的因子を評価する「機能評価係数Ⅰ」、医療機関が担うべき役割や機能に対するインセンティブとしての「機能評価係数Ⅱ」の3つの係数の合計から成り立っています。そのうち「基礎係数」は全国に約1,700病院あるDPC対象病院を、機能や役割に応じて「大学病院本院群(大学病院本院)(82病院)」「DPC特定病院群(高診療密度病院)(155病院)」および「DPC標準病院群(その他の急性期病院)(1,493病院)」に分類したもので、「DPC特定病院群」は、下記の4つの視点から診療実績の評価を受けて指定されております。

診療密度

短い入院期間で質の高い効率的な医療を提供している

医師研修の実施

医師研修が充実している

高度な医療技術の実施

高度の熟練を要する難易度の高い手術や内科疾患を受け入れている

重症患者への診療の実施

長期に及ぶ加療が必要な重症患者に対し、診療密度の高い治療をおこなっている

DPC特定病院群は、全国では155施設、府内では当院を含め14施設が指定されています。

ベルランド総合病院は、DPC特定病院群として地域の医療機関との連携をはかり、安全かつ質の高い急性期医療の提供に努めてまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。

新副院長 紹介



**脳卒中センター
脳神経外科**
副院長 浦西 龍之介

日本脳神経外科学会：専門医
日本脳卒中学会：専門医
日本脳卒中の外科学会：指導医

【略歴】

- 昭和 63年 奈良県立医科大学 卒業
- 平成 1年 大阪警察病院
- 平成 3年 清恵会病院
- 平成 4年 独協医科大学 臨床助手
- 平成 6年 国立大阪南病院
- 平成 10年 奈良県立医科大学 助手
- 平成 15年 奈良県立三室病院 脳神経外科部長
- 平成 16年 大阪南医療センター 脳神経外科医長
- 平成 25年 ベルランド総合病院 脳神経外科部長

※平成11年9月～平成13年8月 エール大学、コロラド大学 留学

新部長 紹介



中央手術部
部長 山口 綾子

麻酔科標榜医
日本麻酔学会：専門医・指導医
日本ペインクリニック学会：専門医

【略歴】

- 平成 9年 奈良県立医科大学 卒業
- 奈良県立医科大学 研修医
- 平成 11年 奈良県立医科大学 麻酔科
- 平成 12年 天理よろず相談所病院 麻酔科
- 平成 14年 市立泉佐野病院 麻酔科
- 平成 16年 ベルランド総合病院 麻酔科
- 平成 22年 ベルランド総合病院 麻酔科副部長

新部長 紹介



手外科外傷外科
部長 蒲生 和重

日本整形外科学会：専門医、
認定運動器リハビリテーション医、認定リウマチ医
日本手外科学会認定：手外科専門医
米国手外科学会 (ASSH) 国際会員

【略歴】

- 平成 11年 大阪医科大学 卒業
- 国立大阪病院 研修医
- 平成 13年 泉大津市立病院 整形外科
- 平成 14年 友誼会総合病院 整形外科
- 平成 15年 大阪大学医学部医学系研究科臓器制御医学 入学
- 平成 19年 同上 修了
- 平成 21年 星ヶ丘厚生年金病院 整形外科
- 平成 25年 ベルランド総合病院 整形外科副部長

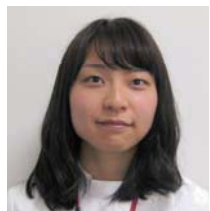
形成外科
部長 大崎 陽子

日本形成外科学会：認定専門医

【略歴】

- 平成 15年 名古屋市立大学医学部 卒業
- 住友病院 総合内科
- 平成 17年 大阪大学医学部 形成外科
- 平成 18年 兵庫県立こども病院 形成外科
- 平成 20年 国立大阪医療センター 形成外科
- 平成 21年 大阪労災病院 形成外科
- 平成 24年 堺市民病院 (H27年7月堺市立総合医療センターに名称変更)
- 平成 29年 ベルランド総合病院 形成外科

初期臨床研修医 紹介



おかむら ちづる
岡村 千鶴



たけもと ゆうき
竹本 祐基



たにくち そう
谷口 聡



なかお ゆみ
仲尾 有美



はら なつみ
原 菜摘



ふじた あおい
藤田 葵



しまだ だいすけ
嶋田 大祐



ほあし かな
帆足 佳奈

新入職医師 紹介

循環器内科



ささき かや
佐々木 加弥
平成 22 年卒

日本内科学会：認定内科医

小児科



いのうえ たいすけ
井上 泰輔
平成 26 年卒



ふくい ゆかこ
福井 友佳子
平成 28 年卒

呼吸器外科



はなだ しょうじ
花田 庄司
平成 17 年卒

日本外科学会：外科専門医
呼吸器外科学会：呼吸器外科専門医

産婦人科



しま かなこ
島 佳奈子
平成 24 年卒

日本産科婦人科学会：産婦人科専門医



しばた あずさ
柴田 梓沙
平成 28 年卒

呼吸器内科



つだ たかのり
津田 誉至
平成 26 年卒

日本内科学会：認定内科医



さわたり こうすけ
佐渡 康介
平成 27 年卒

放射線診断部



なかにし のあ
中西 能亜
平成 19 年卒
日本医学放射線学会：研修指導者
放射線診断専門医



よねだ しょうへい
米田 昌平
平成 27 年卒

脳神経内科・認知症センター



きくかわ たかゆき
菊川 高行
平成 24 年卒
日本内科学会：認定内科医

消化器内科



いのうえ ゆうた
井上 雄太
平成 26 年卒

外科

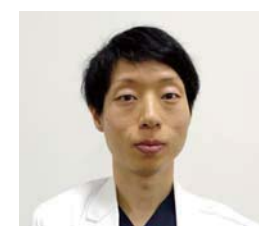


すずき さとし
鈴木 智詞
平成 27 年卒



つちはし くるみ
土橋 果実
平成 28 年卒

整形外科



ぶん まさゆき
文 勝徹
平成 27 年卒



いまい ひろたつ
今井 大達
平成 28 年卒

形成外科



おかだ みどり
岡田 翠
平成 25 年卒

泌尿器科



まつおか ゆうだい
松岡 悠大
平成 27 年卒

耳鼻咽喉科・頭頸部外科



みかみ しんじ
三上 慎司
平成 15 年卒
日本耳鼻咽喉科学会：専門医
日本頭頸部外科学会：頭頸部がん専門医

麻酔科



やまむら ゆうじ
山村 祐司
平成 26 年卒
麻酔科標榜医

平成 30 年 4 月 1 日 副院長 1 名 部長 3 名 就任。
平成 30 年 4 月 1 日 医師 28 名 (うち初期臨床研修医 8 名) 入職。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

登録医のご紹介

ふじわらしんいち総合クリニック

ふじわら しんいち
藤原 進一 先生

内科・外科・消化器内科(内視鏡)・在宅医療

Q. 医師を目指したきっかけは?

小学生時代、親に『人に尊敬される職業は何か』と尋ねたところ親が医者と答え、以後医師を志しました。

Q. 診察の際に心がけていることは?

しっかり患者さんと向き合い、わかりやすい説明を行い、最終的に満足して頂くことを心掛けています。

Q. 地域医療について

地域医療では病院とクリニックのスムーズかつ正確な連携が大切と考えています。地域医療の中で、クリニックとして少しでもお役に立てるよう頑張ります。

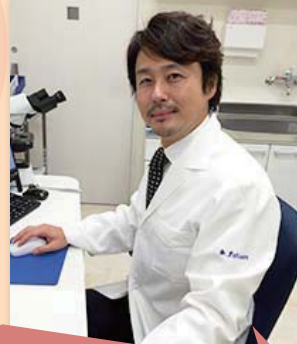
Q. ベルランド総合病院への希望・要望

地域のクリニック(町医者)としてできることは積極的に行いたいと考えていますので、急な検査や入院の要請は極力受け入れて頂けたらありがたいです。

Q. 最後に一言お願いいたします

高血圧症や糖尿病などの慢性疾患のみならず、胃・大腸内視鏡検査、日帰りポリプ切除を積極的に行い、がんの早期発見、予防にも力を入れていきたいと考えています。どんなことでもご相談ください。

心通うクリニックを目指して。
どんな些細なことや症状でも
気軽にご相談下さい!



星座:乙女座 血液型 A型
趣味:釣り・旅行

住所:堺市中区八田北町 532-1
TEL:072-270-5211

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●
13:00 ~ 16:00	往診・検査・手術					
16:30 ~ 19:30	●	●	●	●	●	/

【休診】日曜、祝日

一般向け セミナー

糖尿病セミナー

下記の日程で糖尿病セミナーを開催いたします。
病院食を召し上がりながら、糖尿病について学びましょう!

6/30(土) 『**外食について**』管理栄養士
※他内容の講演もございます。

8/4(土) 『**糖尿病と脂質**』管理栄養士
※他内容の講演もございます。

【開催時間】12:00~14:00(11:45開場)
【開催場所】ベルランド総合病院 AIF ホール

★食事に限りがありますので、先着20名様になります。
(申し込みは1か月前より承ります。)
★受講料【保険適応:240円 実費:500円】+食事540円

みなさんのご参加お待ちしております!

お問い合わせ先:ベルランド総合病院 内科外来
または栄養管理室

新規登録医

登録医件数 **406** 件
H30.4.1 現在

堺区	谷和医院 谷和 孝昭 先生
和泉市	なかお眼科 中尾 彰 先生

医療従事者向け セミナー

5月24日(木)	堺心不全地域連携懇話会 (ホテルアゴーラリージェンシー堺)
6月16日(土)	第18回堺・泉北呼吸器カンファレンス (ベルランド総合病院 AIF ホール)
6月28日(木)	第6回泉北循環器連携フォーラム (ホテルアゴーラリージェンシー堺)
7月12日(木)	第5回南大阪内科カンファレンス (ベルランド総合病院 AIF ホール)
7月14日(土)	第13回泉北地区病診連携皮膚科の会 (ホテルアゴーラリージェンシー堺)
7月26日(木)	泉北耳鼻咽喉科セミナー (ベルランド総合病院 AIF ホール)
7月28日(土)	第9回南大阪医学教育セミナー (ホテルアゴーラリージェンシー堺)

Topics

2018年2月26日 『Bellland Rehabilitation Seminar』を開催しました

講演:「地域高齢者におけるサルコペニアについて」
森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法科
准教授 三木屋 良輔 先生(理学療法士)



2018年3月15日 『第4回南大阪内科カンファレンス』を開催しました

講演1:「DOAC服用時の消化器内視鏡ガイドライン」
ベルランド総合病院 消化器内科 多田 和弘
「基本的な心エコー所見の読み方」
ベルランド総合病院 循環器内科 竹中 淑夏
講演2:「IPFの診断と治療」
ベルランド総合病院 呼吸器内科 小川 未来



2018年3月17日 『第6回泉北地区認知症カンファレンス』を開催しました

講演:「認知症診療・ケア・連携 スキルアップのコツ」
藤田保健衛生大学医学部 認知症・高齢診療科
教授 武地 一 先生



NEWS

メディアで紹介されました

読売新聞社発行 **病院の実力 2018総合編**

病院機能評価 認定継続 4回以上の病院 として掲載されました。

病院機能評価とは? >>> 病院の質改善活動を支援するツール

組織全体の運営管理および提供される医療について、公益財団法人日本医療評価機構が、第三者機構として中立的、科学的・専門的な見地から評価を行うツールです。5年に1度の認定更新での評価を受けることによって、継続的な質改善活動が推進され、より質の高い医療の提供が可能となります。(現在約2,200病院が認定)

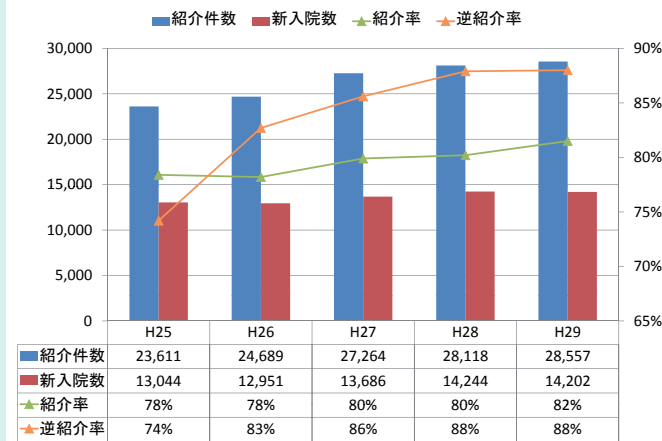
ベルランド総合病院の認定情報は **病院機能評価 情報提供** で検索



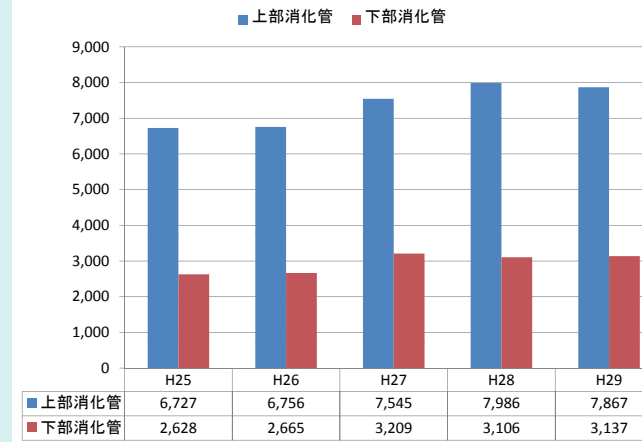
日本医療機能評価機構
＜認定シンボルマーク＞

平成 29 年 臨床・インディケーター 実績報告

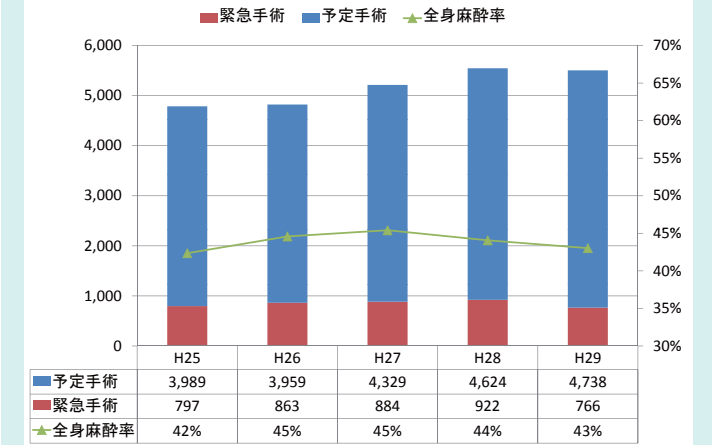
紹介患者・新入院患者数



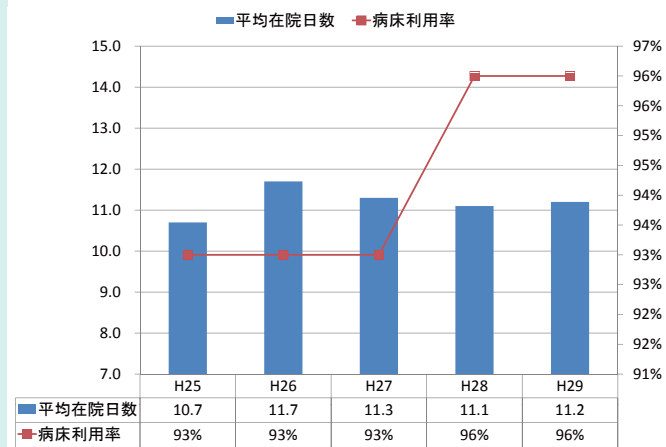
内視鏡検査件数



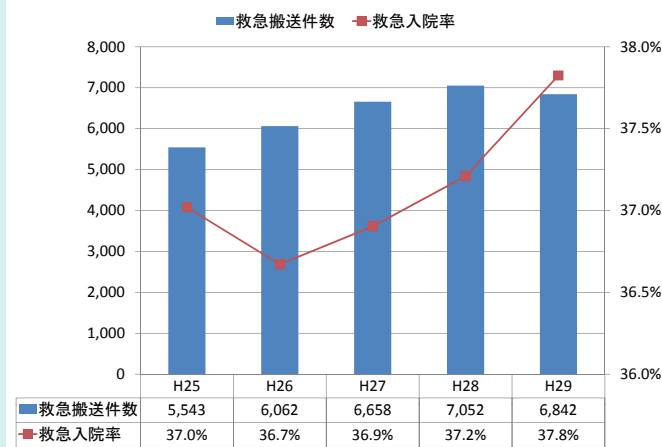
手術・緊急手術件数



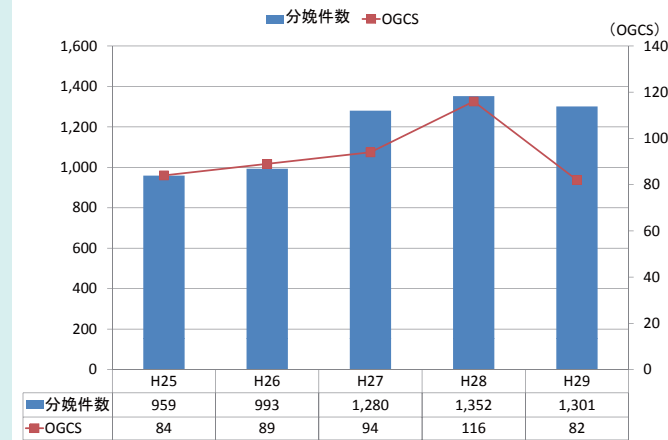
平均在院日数・病床利用率



救急搬送件数

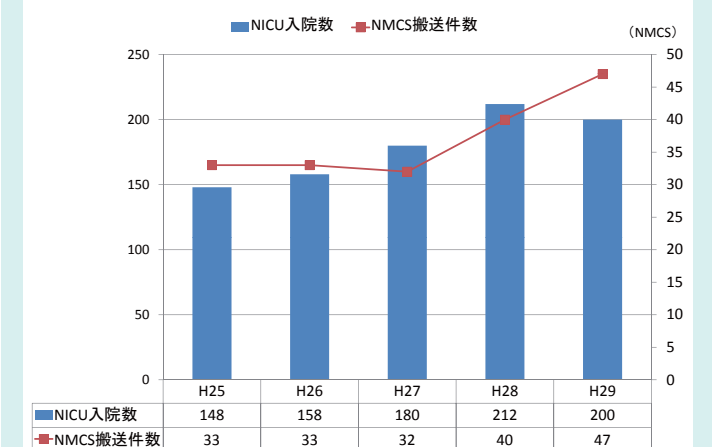


分娩・OGCS 受け入れ件数

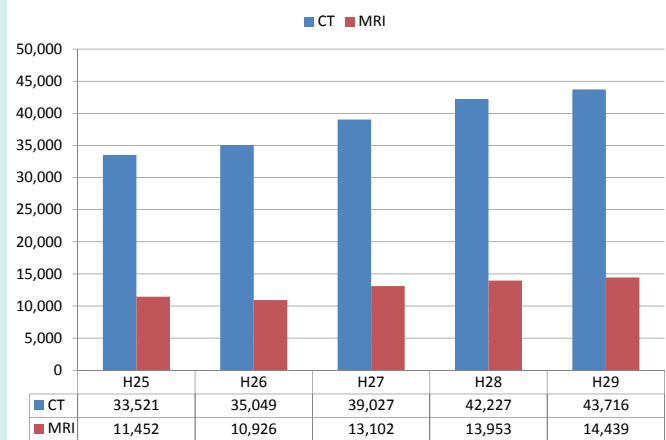


※OGCSとは・・・産婦人科診療相互援助システム。
大阪府下の高次医療を行う施設が協力し、
産婦人科領域の専門的医療を提供しています。

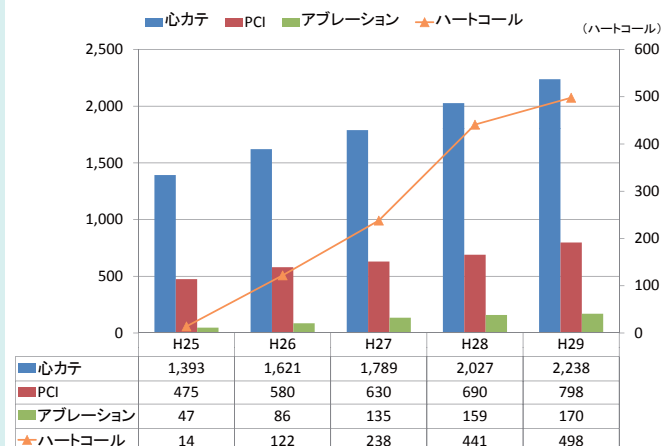
NICU 入院数



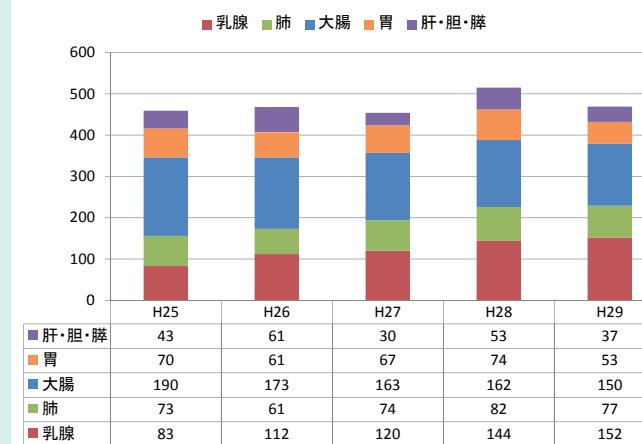
CT・MRI 件数



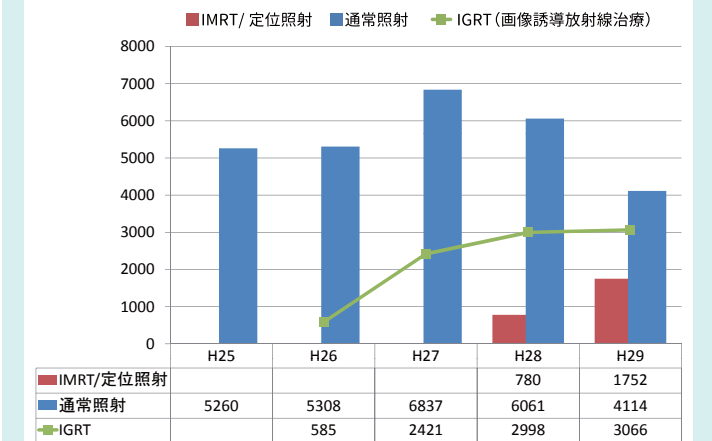
心臓カテーテル件数



5大がん手術

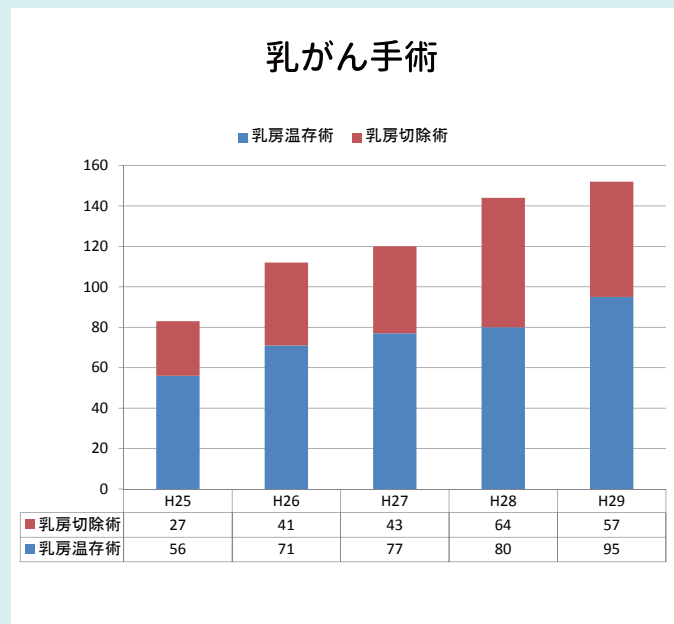
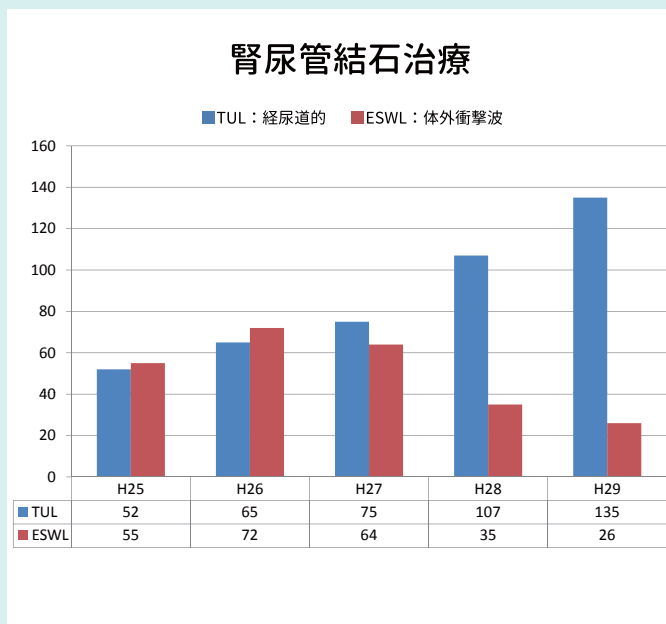
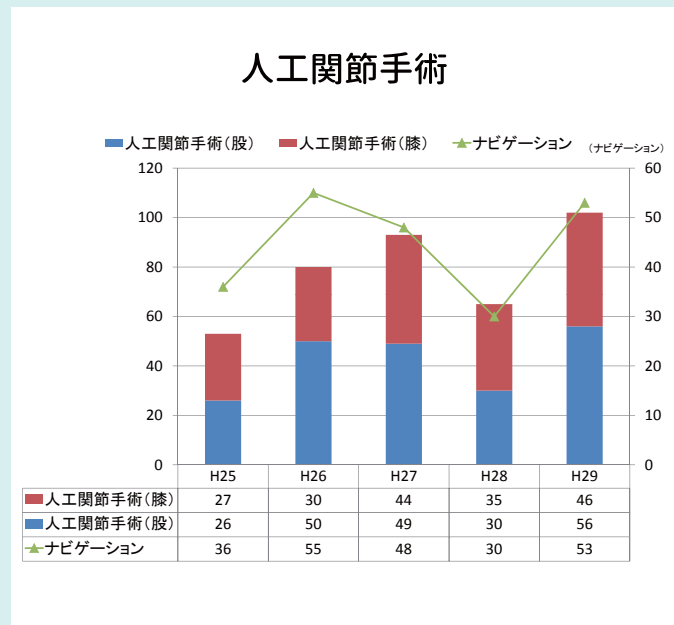
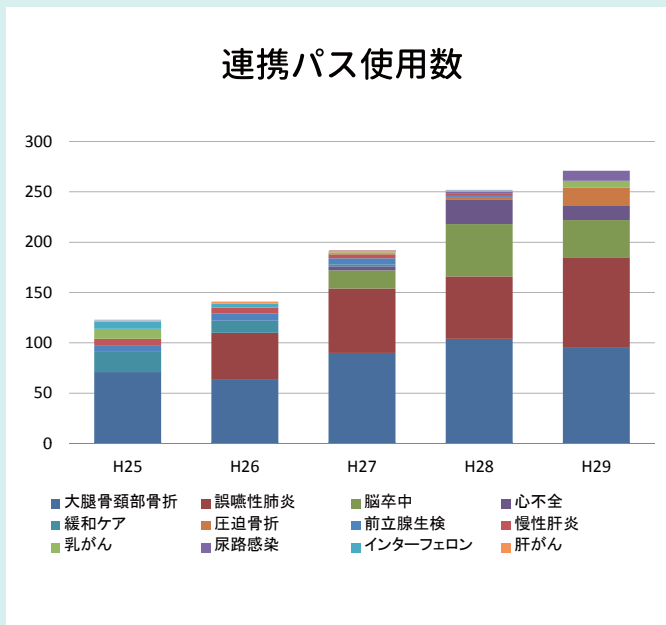
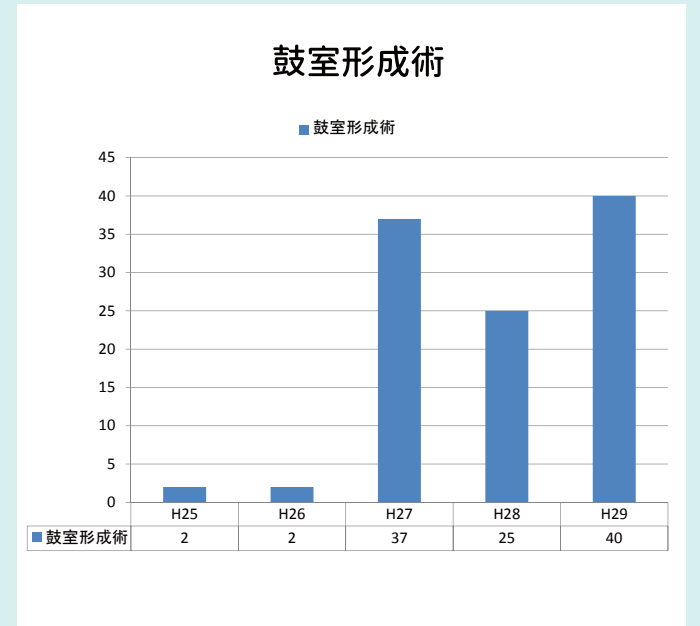
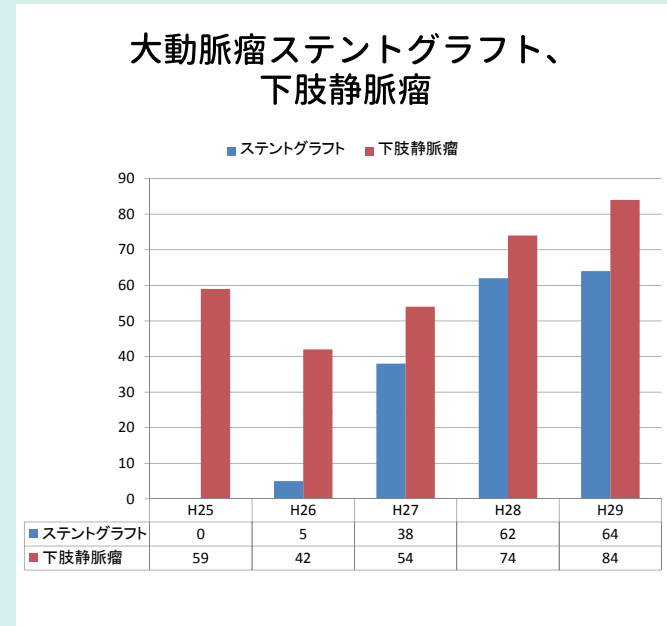
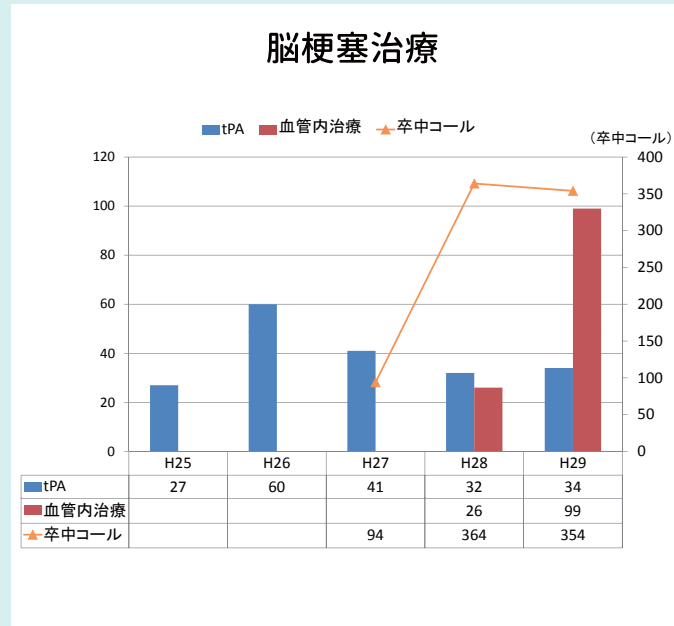
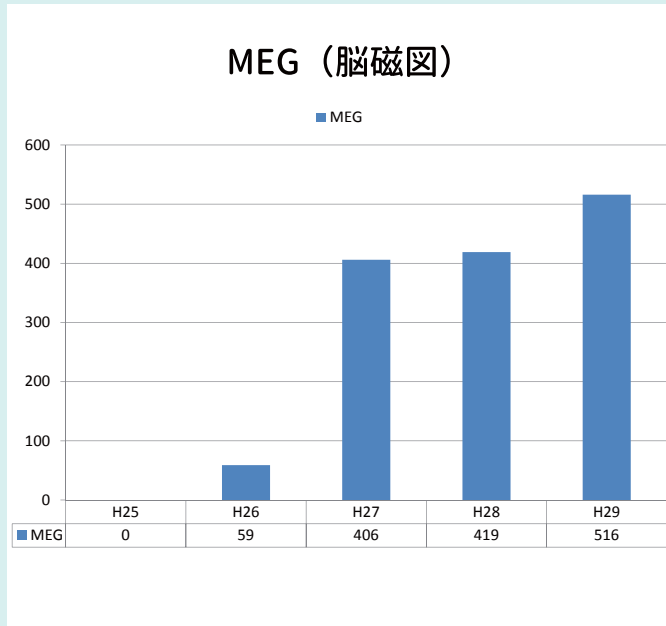


放射線治療照射件数



※平成 28 年より強度変調放射線治療 (IMRT) を
開始しています。





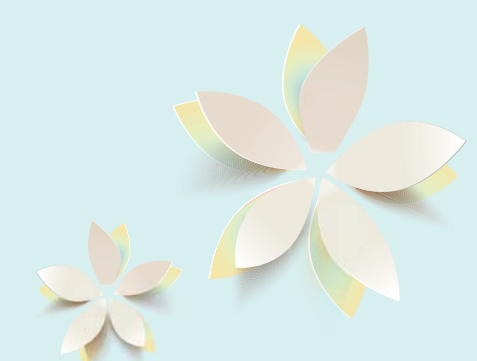
ベルランド総合病院は、平成 26 年 9 月に病院を新築しました。検査から治療への動線を極力短く設計しており、一刻を争う疾患への迅速な対応が可能です。安全と安心を第一に、地域に密着した高度な急性期治療を 24 時間 365 日提供しています。

また、直近 5 年間のさまざまな臨床指標（クリニカル・インディケータ）が示しますように、当院の医療機能は確実に向上しています。このような日々の努力が客観的に評価され、平成 28 年に国から DPC II 群病院（大学病院本院に準ずる機能を有する）に指定されましたが、平成 30 年 4 月からも引き続き DPC 特定病院群（旧 II 群病院群）の指定を受けています。

日本では、高齢化により併存疾患を有する患者さんが増え、入院生活や退院後の療養生活への不安をかかえています。一方では、ベルランド総合病院等が提供しています急性期医療は、入院日数が欧米並みに短縮してきています。こうした相反する状況下、国が推進する『地域包括ケアシステム』は、「単一病院で完結するのではなく、地域全体で支え合う」というコンセプトです。

私たちは、入院前から社会的背景も考慮し、医師のみならず看護師や社会福祉士等スタッフが丁寧に説明し、安心した入院生活が送れるよう支援しています。

平成 30 年 5 月
病院長 亀山 雅男



ベルランド総合病院は、市民の皆様を対象に健康に対する啓発活動に取り組んでいます。



第8回 産婦人科レビュー・コース開催



質疑応答の様子

1月27日(土)に堺市立東文化会館において、第8回市民公開講座が開催されました。今回は「脳梗塞」をテーマとした内容で、大変寒い日でしたが、約270名と多数の方にご参加いただきました。

脳梗塞は早期に症状に気づき、医療機関へ受診し治療開始することが大切となりますが、どのような症状が出現し、発症後の治療や早期よりどのようなリハビリテーションを開始していくかなどわかりやすくお話がありました。

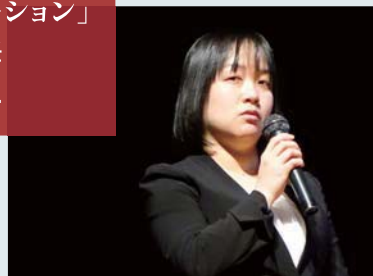
講演後の質疑応答でも、積極的に多くの発言があり、関心の高さが伺えました。また、その後の「血管年齢」の測定コーナーには多くの方が参加され、結果を興味深く確認し、説明文を読まれている姿が印象的で、盛況に会を終えることができました。

今後も地域医療支援病院として、微力ながら市民の皆様健康に対する意識を高めていただき、元気で長生きできる社会に貢献できるよう努めてまいります。何かご意見などありましたら遠慮なくお聞かせいただき、参考にさせていただきます。

「脳梗塞の予防と急性期治療」
副院長・脳神経外科部長
浦西 龍之介



「脳梗塞のリハビリテーション」
作業療法室 主任
内海 奈那子



講演内容 2018.2.10~2.11

- 【講演1:早産・IUGR(FGR)】
宮崎大学 学長 池上 克
- 【講演2:産科出血と放射線】
福島県立医科大学医学部 産科・婦人科学講座 教授 藤森 敬也
- 【講演3:胎児低酸素の病態生理学】
生長会医学教育センター長 周産期医療研究所長 村田 雄二
- 【講演4:不妊症・不育症】
兵庫医科大学 産科婦人科学講座 主任教授 柴原 浩章
- 【講演5:多胎妊娠】
聖隷浜松病院 産婦人科 部長 村越 毅
- 【講演6:周産期と感染】
今給黎総合病院 新生児内科 部長 丸山 有子
- 【講演7:産科における超音波スクリーニング】
ベルランド総合病院 産婦人科 部長 峯川 亮子
- 【講演8:リプロダクティブヘルスとsafe abortion】
大阪大学大学院 医学系研究科 産科学婦人科学教室 教授 木村 正
- 【講演9:臨床遺伝学】
兵庫医科大学 産科婦人科学講座 教授 澤井 英明
- 【講演10:思春期・若年期の月経異常】
こうむら女性クリニック 院長 甲村 弘子
- 【講演11:子宮内膜癌の診断と治療戦略】
大阪医科大学 産婦人科学教室 教授 大道 正英
- 【講演12:婦人科腹腔鏡手術】
がん研究会有明病院 婦人科 副部長 金尾 祐之
- 【講演13:骨盤臓器脱 診断、治療と今後の展開】
大阪府立急性期・総合医療センター 産婦人科 主任部長 竹村 昌彦
- 【講演14:子宮頸癌】
新潟大学医学部 産科婦人科学教室 教授 榎本 隆之
- 【講演15:卵巣がん】
松江市立病院 病院長 紀川 純三
- 【講演16:女性のホルモン治療】
愛知医科大学医学部 産婦人科学講座 教授 若槻 明彦

※所属・役職は開催時点のものです

2月10日(土)~11日(日)の2日間、当法人 周産期医療研究所長 村田 雄二をコースディレクターとして、これから専門医となってひとり立ちしようとする医師を対象に、今年で8回目となる産婦人科レビューコースを開催いたしました。自らの得手・不得手を知り、将来の勉学の計画に役立てて頂くことを目的としています。

講義の内容は、エビデンスに基づいた臨床スタンダードを中心とし、著名な講師陣による熱い16講義と十分な質疑応答で構成された内容で、とても白熱した充実の2日間となりました。

また今回は、2日目の講義終了後に、レビューコース参加者のうち希望者6名を対象として、疑似患者を用いた予診聴取後、識別診断、治療方針のプレゼンテーション、患者説明までをDr.Feizal Waffarn (前カリフォルニア大学医学部教授)の指導のもとに行うMedical English Courseを開催しました。

しっかりと学ばれた先生方、お疲れ様でした。知識欲を十分に刺激出来たのではないかと思います。今後の益々のご活躍を期待しております。

なお、ご講義くださった講師の先生方、誠に有り難うございました。心より感謝申し上げます。

Medical English Courseの様子

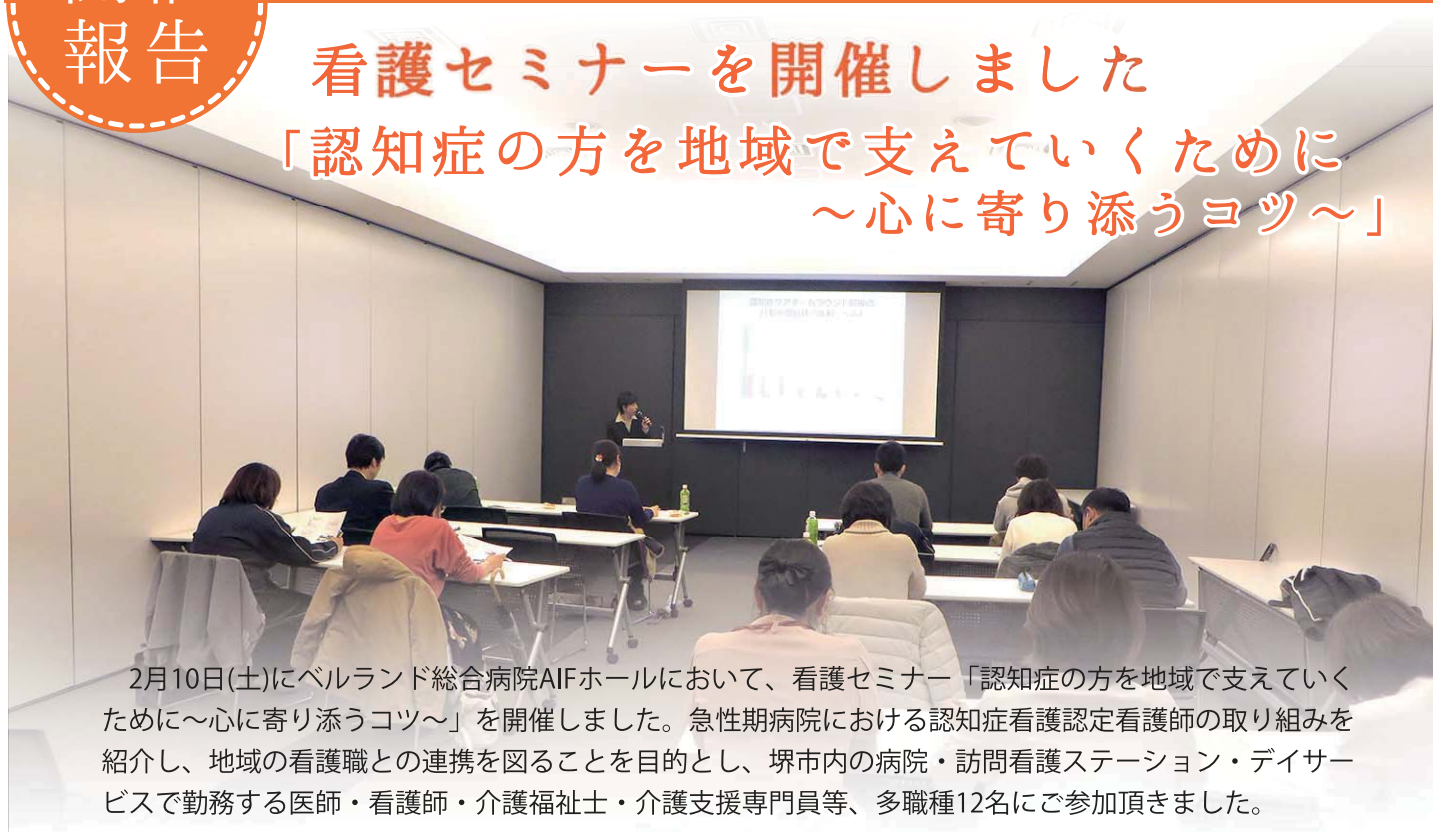


Dr.Feizal Waffarn



社会医療法人生長会 周産期医療研究所長
大阪大学 名誉教授
村田 雄二

看護セミナーを開催しました 「認知症の方を地域で支えていくために ～心に寄り添うコツ～」



2月10日(土)にベルランド総合病院AIFホールにおいて、看護セミナー「認知症の方を地域で支えていくために～心に寄り添うコツ～」を開催しました。急性期病院における認知症看護認定看護師の取り組みを紹介し、地域の看護職との連携を図ることを目的とし、堺市内の病院・訪問看護ステーション・デイサービスで勤務する医師・看護師・介護福祉士・介護支援専門員等、多職種12名にご参加頂きました。

急性期治療を受けながら、認知面やADLなどの機能低下を防止し、早期に元の住み慣れた環境に戻って頂くための取り組みとして、院内デイケア「**空彩(そらいろ)**※」の紹介を行いました。

その後、認知症患者様への関わりの実際についてロールプレイングを行い、研修担当者を含め参加者全員で、「認知症の方からみえる世界」をテーマとしたディスカッションを行いました。その中で「認知症の方の行動だけでなく、ご本人の思いを感じ取れるように関わることが大切であることを実感した」「普段の自分の看護を振り返る機会となった」「認知症の方にとっての良い環境を整えることの重要性を理解することができた」とのご意見を頂くことができました。

また、地域連携の際に共有すべき情報について、活発な意見交換がなされ、急性期病院では身体治療



を円滑に終えて地域に戻って頂くために、生活者としての多面的な情報収集を行いケアに活かすこと、また退院支援の際に地域の関係機関へ情報を発信していくことが重要であり、私達の今後の課題であることが明確になりました。

この研修を通し、当院における認知症ケアの質向上と地域連携に向けて、認知症看護認定看護師としての役割や活動の広報促進を行っていく所存です。

認知症デイケア・空彩(そらいろ)

入院を機に、生活リズムが乱れることによる認知症の進行やせん妄を予防する目的で、看護師とケアワーカーが中心となり、身体治療と並行してできる認知症ケア「院内デイケア」を行っています。



毎週月・水・金
14:00～15:30
8階談話室にて



ベルランド総合病院 看護部
認知症看護認定看護師 石川 智子

看護部長・管理部長紹介

看護部 部長

まえはら ようこ
前原 陽子

医療を取り巻く環境が、少子高齢化の進展や医療技術の高度化等により大きく変化している中で、看護師の活躍の場は大きく広がり、また働き方も変わってきます。そのような中で、最善の医療・看護を皆様に提供できるよう、一人ひとりの看護師・助産師が、専門職として地域医療への貢献を考えながら努力しています。

また、当院には、3名の専門看護師と14名の認定看護師が、医療連携を推進し、その専門性をさらに発展させながら支援しています。

看護部の理念であります「ぬくもりのある、ゆきとどいた看護」が提供できるよう活動を推進してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



【資格】
MBA (経営学修士)

管理部 部長代行

いけがみ まさき
池上 正樹

昨年10月に事務長に就任いたしました、管理部部長代行の池上正樹でございます。

平成8年に入職し医事課、企画室を経て、現職に至っております。

当院は地域医療支援病院として24時間365日の救急医療の実践、紹介患者様の積極的な受入を行い、地域の中核病院としての役割を担っております。平成26年9月には病院の新築を行い、新しい医療機器の導入により診療機能も向上しております。これらの機能を十分に活用していただけるよう、地域の先生方のご期待にこたえられる病院づくりを目指していく所存です。

今後とも、ご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



【資格】
医療ビジネス経営学修士 (h-MBA)
診療情報管理士
医療情報技師